

## 子どもの豊かな育ちと学びを保障するための「おとなのまなび場」づくり

### 1 取組の目的・全体像

#### 【目的】

マチコエの保育園・幼稚園グループでは、子どもの豊かな育ちと学びを保障するため、「子どもがまんなか！子どもが主役の”子どもの森”をつくろう」という政策テーマを掲げた。このテーマの実現に向けて、子どもに関わるおとなたちが立場を越えて対話する場をつくるきっかけとして「みんなの学校」の上映会を開催した。

#### 【実施内容】

実施日 2023年2月23日（木・祝）

会場 三鷹産業プラザ 7階会議室

当日スケジュール

13:00 「みんなの学校」上映

15:10 木村泰子さん講演会

15:40 「木村先生に聞いちゃおう」

16:05 今後の予定とプロジェクトへのお誘い

16:10 閉会

※会場アンケートとして「みんなの木」を作成した。

※終了後、参加者に対してアンケートを実施。（3月末〆切）

### 2 取組のポイント

- (1) 映画「みんなの学校」が、「子どもがまんなか」という政策テーマを多くの人に伝えるのに最適な素材であったことに加え、補助金を活用することにより、大阪から木村泰子さんをお呼びすることができた。
- (2) この企画を行うにあたっては、趣旨に賛同する保育園・幼稚園グループ以外のメンバーの協力を得ることができた。このメンバーが、上映会の準備を通じて、今後の企画のイメージを共有することができた。
- (3) 上映会の申し込み方法に peatix を利用することにより、今後の呼びかけのツールとしても活用することが可能になった。

### 3 取組の成果

- (1) 上映会参加者 110人＋スタッフ7人  
（定員110人で〆切としたため、お断りした方も）
- (2) 上映会の成功により、活動継続のイメージができた。
- (3) 参加者アンケートでも、この映画をきっかけに地域や学校を変えていきたいというメッセージをたくさんいただくことができた。



参加者にアンケートにご協力いただき作成した「みんなの木」

【「みんなの木」の葉っぱに書かれた思い】

- ・すべての学校は、みんなの学校
- ・みんなで育てる子どもの森
- ・ナナメの関係を頑張ります！
- ・自分が変わる。周りの子どもに関わる。今日からできること。
- ・保護者・地域、共に学ぶ学校大空小学校が日本中に広がりますように！
- ・学校は社会の縮図。やさしい社会でありたいです。
- ・学校に限らずこんな場所がまちのあちこちにあってほしい。
- ・子どもを信じること、子どもに信じてもらうこと…今失われつつある大切なことがたくさんつまっていました。
- ・「子ども」を主語にした学校づくり。学校から地域へ 誰もが安心して暮らせる社会を一人一人の力で創っていけると信じて。

4 次年度以降の取組について

- (1) 上映会をきっかけとして、すでに次回のオンライン企画「”みんなの学校”の感想を語り合う会」(4/19)が決定しており、継続して「まなぶ場」をつくっていくこととしている。
- (2) 隔月に1回程度、「子どもの育ちと学び」について語り合う会を継続的に開催していく予定。

< 取り組みの報告を受けた選考委員会からの主な意見（助言等） >

- ・初回（2月23日）の取り組みを終えた後の2回目以降の取り組みにあたっては、その目的に応じて講師を招くべきなのかそうでないのかを考えていく段階を踏む

ことで、より個性の出る三鷹らしい取り組みに繋がっていくことが期待できる。

- 取り組みのタイトルにある「おとなのまなび場」づくりについて、学校の先生や地域の方々とも色々な連携をする場をどのように作っていくかを考え提言する（マチコエの政策提案）ことを検討しているとのことで、良い着眼点のため、その点へのフォーカスをもう少し強くして取り組んでいくと良いと思う。
- 「みんなの学校」ではなぜ実現できたかを考えると、その一つにあらゆる関係者がそれぞれ考え、「なぜか？」と問いを立てて取り組んだことが挙げられる。その点も意識して取り組まれると良い。